

## 第2学年 国語科学習指導案

指導者 浅見 泉

1 日 時 : 令和2年9月4日(金) 第3校時(10:35~11:20)

2 単元名 : 「どうぶつ園のじゅうい」

3 単元目標

- ・文章の内容と自分の経験とを結び付けて、感想をもつことができる。
- ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。
- ・時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。

4 単元計画(全12時間 本時9/12時間)

第1次 教材文を読み、初発の感想を書く。(1時間)

第2次 教材文の内容を表に整理してまとめる。

読んで考えたことや気づいたことをまとめる。(9時間)

第3次 書いたものを発表し、感想を伝え合う。

学習を振り返り、発展読書の計画を立てる。(2時間)

5 本時の目標

獣医の一日の仕事とそのわけ、仕事の工夫を時間の順序に従ってまとめ、発見や驚き、もっと知りたいことなどを発表し、筆者が伝えなかったことを自分なりに考えることができる。

6 展開

学習活動	○支援 ◆評価規準	備考
1. 9の段落を読み、めあてを確認する	○ 全員で音読し、1日という言葉に着目させることで、学習への見通しをもたせる。	(全体)
どうぶつ園のじゅういさんの 1日のしごとを まとめよう		
2. 筆者の一日の仕事を振り返り、出来事をワークシートにまとめる ・朝 どうぶつ園の中を見回る (毎) ・見回りが終わる頃 いのしし おなかにきかいをあてた (だけ) ・お昼前 にはんぎる くすりをのませた (だけ) ・お昼過ぎ ワラビー はぐきのちりょうをした (だけ) ・夕方 ペンギン ボールペンをはき出させた(だけ) ・1日の仕事の終わり 日記を書く (毎) ・動物園を出る前 おふろに入る (毎)	○ 「これ」が何を指しているのかを考えることにより、お風呂に入るまでの1日が、どのような1日であったのかを想起させる。 ○ 項目を「いつ」「動物の名前」「仕事」に限定することで、分かりやすい表にする。 ○ 前時までの学習の記録は、見やすいところに掲示しておき、ノートや掲示物を見ながら、順序を考えて発表するよう助言する。 ○ 「毎日すること(毎)」「この日にだけしたこと(だけ)」に分けることで、急な仕事がたくさんあることを知り、じゅういの仕事の大変さを理解させる。 ○ 視写ができてにくい児童には、必要に応じて、板書と同じ内容が書かれているワークシートを見ながら写すように支援する。 ◆ 順序を考えて、筆者の一日の仕事をまとめている。(知・思)	(全体)  ↓  (個人) ワークシート

<p>3. 筆者の仕事について、発見したことや驚き、もっと知りたいことなどを書き、発表する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長い一日だけど、いやではないのだと思う。</li> <li>・獣医さんは1日中仕事をして、大変だ。</li> <li>・日によって、仕事が違う。</li> <li>・大変だけど、獣医さんがいないと動物が死んでしまうかもしれないのでがんばっている。</li> <li>・私も、じゅういさんになりたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「ようやく」「長い一日」の言葉に着目させ、なぜわざわざその表現を使ったのかを考えさることにより、獣医の仕事の大変さや、やりがいへの理解を深めさせ、自分の考えや思いを表現しやすくする。</li> <li>○ 初発の感想を参考にし、学習して分かったことや、より深く考えたことを書くように助言する。</li> <li>○ 発表する時は、相手に伝えようという気もちではっきり話すように支援する。</li> <li>◆ 今まで学習してきたことをもとに、筆者の仕事について感想を書き、他者の発表を聞いて、自分の考えと比べたり、似ているところに気づいたりする。(思・態)</li> </ul>	<p>(個人) ノート ↓ (全体)</p>
<p>4. 筆者が、この説明文で何を伝えたかったのか、考える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「わたしのしごとのことを書いてみましょう。」と書いてあるので、獣医の仕事を知ってほしい。</li> <li>・1日の仕事を詳しく書くことで、獣医の仕事は大変だと伝えたい。</li> <li>・動物を大切にしてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ はじめの段落が、問いかけや疑問文で始まっていることを手がかりとして提示することで、この説明文で筆者が何を伝えたかったのか、自分なりの考えをもちやすくする。</li> <li>◆ 筆者が伝えたかったことは何か、自分なりの考えをもつ。(思・態)</li> </ul>	<p>(個人) グループ ↓ (全体)</p>
<p>5. 本時の学習を振り返る</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時の学習を振り返ることで、説明文は筆者が伝えたいことが伝わるように、工夫して書かれていることを知る。</li> </ul>	

(筆者の思い)

動物園で子どもたちに感じてほしいことは、動物の姿、美しさ、華麗な動き、そして生きているということ。それが感じられて初めて、動物を守ろう、自然を守ろうという気もちがうまれる。地球温暖化や、野生動物の乱獲など、動物を取り巻く環境は非常に厳しい。しかし、子どもたちには、まず、動物園で生きている実物の動物たちを見てほしい。そして、一つの動物をじっくり観察するように見てほしい。ゆっくり見ることでいろいろな発見がある。子どもたちが、今よりちょっとでも動物に興味をもち、好きになってもらえたら、それだけでも動物園の存在意義は大きいと思う。動物の素晴らしさを実感したら、その数年後でかまわない。動物たちの現状を理解し、自分たちのできることを考えて、実行できるような子どもたちが一人でも増えることを願っている。